

日本難病医療ネットワーク学会機関誌投稿規定

1) 原稿の募集と審査

日本難病医療ネットワーク学会員は学会誌に論文を投稿することができる。ただし、特集論文については、編集委員会から依頼する。

他誌に掲載されていないもの、もしくは掲載予定のないものに限る。

論文の採否は、査読に基づき編集委員会が決定する。

言語は日本語あるいは英語とする。

2) 個人情報保護と医学系研究に関する指針遵守

臨床研究の場合は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など該当する倫理的指針・法令を遵守して実施する。

個人情報については、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」などの該当する倫理的指針・法令に従う。

症例報告では、仮説検定は行わず、9例以下とする（日本神経学会の投稿規定による）。症例報告は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」などという「研究」には該当しないため、倫理審査は問わない。

人を対象とする研究の場合、倫理的配慮について論文中に明記する。

3) 利益相反 (COI) の自己申告

すべての著者は投稿にあたり、投稿時から遡って過去1年以内における利益相反 (COI) について、所定の様式 (投稿者COI) (日本難病医療ネットワーク学会のWebページよりダウンロード可能) に従って申請する。

4) 投稿の形式

論文は、難病の医療・看護・介護・福祉に関する学問や技術の進歩に寄与するもので、総説、原著、症例 (事例) 報告、短報、活動報告 (シンポジウム・ワークショップの報告を含む)、Letters to the Editor などとする。

原則として、総説・原著では文字数で14,000字以内、症例 (事例) 報告・短報・活動報告 (シンポジウム・ワークショップの報告を含む) では7,000字以内、Letters to the Editor は1,000字以内とする。

英文の場合、総説・原著では5,000語以内、症例 (事例) 報告・短報・活動報告は2,500語以内とする。

英文の論文あるいは抄録を投稿する場合、英語のネイティブ・スピーカーによる英文校正証明書を添付する。

要旨・文献・図・表・写真は文字数に含めない。

5) 執筆要項

原稿は、Wordで作成し、A4縦用紙に横書きし、行番号を表示する。

本文の字数は、1ページあたり40字×40行(1,600字)を目安とする。上下左右の余白は、適宜、読みやすいように設定する。

原著および症例（事例）報告の構成は、原則として論文要旨（日本語で300字以内）・本文・文献・図・表・写真とする。文章は常体「だ・である調」で記載する。ワークショップやシンポジウムの内容を原著として投稿する場合、常体を用いる。活動報告として逐語録で報告する場合、敬体「です・ます調」の選択も可能である。

(1) 表紙

第1頁目の冒頭に、論文題名、著者名・共著者名、各所属機関名、キーワード（5個以内）を明記する。

(2) 要旨

総説、原著、症例（事例）報告、短報、活動報告には、要旨（日本語で300字以内、英語で500語以内）を付ける。

なお日本語の総説・原著・症例（事例）報告には英文抄録（500語以内）を付けることができる。その場合、英文で表題、著者名、学位、所属、英文キーワード（和文キーワードと相対するもの）を記載する。

(3) 本文

文章の形式は、IMRAD (Introduction, Methods, Results And Discussion) 形式にする。

文中の英数字、記号（例：% , () など）は半角で記載する。

略語は、初出時にフルスペルと略語を併記し、以後、略語を使用する。

(4) 利益相反

COIは、謝辞または文献の前に掲載する。

COI状態がない場合は「申告すべきCOI状態はない」などの文言を明記する。

(5) 謝辞

論文への貢献がある者に対して謝辞を入れる場合、本人の許可を得た上で記載する。

(6) 文献

引用文献は主要なものに限り、本文に引用された順に番号を付し、末尾に一括して記載する。本文中の引用箇所に番号をつける（肩番号の必要はない）。

引用文献数は、総説・原著・症例（事例）報告は30編以内、短報・活動報告は10編以内とする。

引用文献の著者氏名、編者氏名は、4名以上の場合は最初の3名を書き、他は一ら、またはet alとする。最終頁数は略さず全数字を記載する（例：135-46→135-146）。抄録の引用は表題の最後に（会）、欧文発表の場合は（abstr）とする。

例)

①【単行本の場合】

引用番号) 著者名. 書名. 版表示. 出版地: 出版社, 出版年, 頁-頁.

1) リチャード S. ラザルス, スーザン フォルクマン著. 本明寛, 織田正美, 春木豊
訳. ストレスの心理学 - 認知的評価と対処の研究. 第10刷. 東京: 実務教育出版,
1991, 154-60.

2) Buckman R. Practical Plans for Difficult Conversations in Medicine:
Strategies That Work in Breaking Bad News. Baltimore: The Johns Hopkins
University Press, 2010, 28-45.

②【雑誌の場合】

引用番号) 著者名. 論文名. 雑誌名 (雑誌名に公式な略名がある場合は略名を使用す
る). 発行年; 巻(号): 頁-頁.

1) 岩木三保, 鳩野洋子. 筋萎縮性側索硬化症(ALS)介護者の介護に対する肯定的認知
に関連する要因の検討. 日本難病看護学会誌. 2011; 15(3): 173-184.

2) Gundogdu B, Al-Lahham T, Kadlubar F et al. Racial differences in motor
neuron disease. Amyotroph Lateral Scler Frontotemporal Degener. 2014; 15(1-
2): 114-118.

③【ガイドラインの場合】

引用番号) 編集. ガイドライン名. 版数, 出版地: 出版社名, 出版年, 頁-頁.

1) パーキンソン病治療ガイドライン作成委員会編. パーキンソン病治療ガイドライ
ン2011. 東京: 医学書院; 2011. p. 2-4.

④【研究報告の場合】

引用番号) 著者名. 表題. 編者名, 研究班名, 報告書名. 年. 頁-頁.

1) 瀧山嘉久, 辻 省次, 佐々木秀直ら. 痙性対麻痺全国共同研究の提案-JASPAC
(Japan Spastic Paraplegia Research Consortium)-. 厚生労働省難病性疾患克服研
究事業, 運動失調に関する調査及び病態機序に関する研究班, 平成17年度研究報告
書. 2006. p. 115-118.

⑤【web siteの場合】

引用番号) サイト名[Internet] 発表機関所在地: 機関名; 発表年月日[cited アクセ
ス 年月日]. (Available from: サイトURL. (発表年月日は分かる範囲でよい))

1) 難病情報センター. アレルギー性肉芽腫性血管炎[Internet]. 東京: 厚生労働省;
2010 Feb 5. [cited 2011 Jan 11]. (Available from:
<http://www.nanbyou.or.jp/sikkan/005.htm>. Japanese.)

(7) 図・表・写真

図・表・写真は本文とは別に作成する。

図表等のデータは、A4判1枚に1図表とする。jpgファイル、もしくはWord、PowerPoint

で作成して貼付する。

図・表・写真に用いる言語は日本語または英語とし、説明も同様とする。

表のタイトルは上に、図・写真のタイトルは下に付ける。

挿入位置は、原則として編集部に一任されるものとする。

6) 投稿の方法

原稿は添付ファイルにてメールで提出する。

その際「投稿（寄稿）添付用紙」を添付する。「投稿者COI」の原本は下記に郵送する。「投稿（寄稿）添付用紙」と「投稿者COI」は、日本難病医療ネットワーク学会のWebページよりダウンロード可能である。

投稿先：日本難病医療ネットワーク学会編集委員会委員長 田中優司

Mail- Address: journal@nanbyo-net.com

COI郵送先：日本難病医療ネットワーク学会編集委員会副委員長

〒513-8670 三重県鈴鹿市南玉垣町3500-3

鈴鹿医療科学大学 中井三智子

7) 掲載

掲載料は規定以内のものは徴収しない。

8) 著作権

掲載原稿の著作権は本学会に帰属する。転載、複写および、アクセス可能なインターネット・データベースへの取り込みと配布に関する許諾権は本学会に帰属する。

論文PDFファイルは投稿者に対して無料で提供する。

論文PDFの使用範囲として、印刷して講義やセミナーなどの出席者に配付する事は許可する。論文PDFファイルをWebページ上に置いたり、メールの自動配信機能などを使って不特定多数の人に配付したりする事は禁止する。

附則

(施行期日)

この規定は、平成25年4月1日より施行する。

平成30年11月15日 一部改訂

令和2年11月21日 一部改訂

令和5年2月22日 一部改訂

令和6年3月26日 一部改訂